

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	通所支援施設 みらい			
○保護者評価実施期間	2024年 3月 1日 ～ 2025年 2月 28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○従業者評価実施期間	2024年 3月 1日 ～ 2025年 2月 28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○訪問先施設評価実施期間	2024年 3月 1日 ～ 2025年 3月 1日			
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3	(回答数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	現在の利用児童に対しての学校・地域との関係性の強さと継続的な話をしやすい雰囲気が出来ている	年度の初めから管理職を含めて担任の先生方と話をする機会を作りにいき情報交換を早期から行うように心がけ行なっている。	訪問時に時間を取っていただけるように、時間の調整や幅を持てるように心がけて行く
2	職員間での情報共有を行う時間を多めに持つことで一人ではなく色々な角度から訪問時に話せるように行うことが出来ている	担当職員で抱え込むことが無いように全職員で情報共有を行い、訪問時に色々な角度からの話が出来るようにしている。一回一回は大事にしているが、中長期的な話が出来るように心がけて行っている	訪問時に確認した行動や内容、学校との会話などを正確に残していき会議内で話せるように行う
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援への経験値が少ない事	開所後三年という実数としての経験が足りていない	職員が長く働ける環境を作り、研修や実践・会議を通して経験値をあげて行き長期的に改善できる課題であり、出てきた課題を全体で共有し都度都度改善を行っていく。
2	保育所等訪問支援での長い目で見た結果を見ていないため、試している内容が多い	開所して三年目であるということと小学生が中心であることと回数を重ねて行けていない	訪問一回一回を大切に行い、中長期的な支援に繋がっていくようにしていき、問題点が出た場合は改善を行っていく。
3			